

「ふるさと・子供夢プロジェクト」の紹介

東京稚内会 会長 小坂 輝 雄



私たちは、ふるさと稚内の子どもたちが、夢と希望をもって、未来に向かってたくましく成長してほしいとの願いを持っています。子どもたちは教育を受けて、ふるさとを支える若者となり、また巣立って社会で活躍する大人へと、次代を担うふるさとの宝です。そこで4年前から、首都圏で活躍している経験豊かな諸先輩が講師になって、稚内の中・高校生に課外授業を行っています。卒業生（先輩）が歩んできた人生を母校の後輩たちに語り、それを聞いて後輩たちが自分の進路や人生に何かを得る、今の授業では得ることのできない、生徒たちの心に語り掛ける授業を目指しています。当時、道内では初めての試みで、教育委員会が全面的にバックアップしてくださいました。2014年秋に「ふるさと・子供夢プロジェクト」を立ち上げ、第1回の講師はオリンピックで多くのメダリストを育てた鈴木啓三先生（稚内高校卒）、第2回は世界で初めて光ファイバーを実用化した徳田正満先生（同卒）、第3回は食肉の熟成で第一人者の服部昭仁先生（同卒）、そして第4回の今年も長くオリンピックの実況で活躍した元アナウンサーの当会副会長の東出甫さんが講師です。

ふるさとで生まれ育ち、教育を受けた私たちが、子供たちの教育にお手伝いし、お役に立つことができたなら、ふるさとへのうれしい恩返しになります。

屯田兵一家のサロマ湖開拓秘話

東京サロマ会 事務局 西沢 孝 洋



北方警備と開拓を目的に造られた屯田兵村は、網走管内では北見と湧別の2カ所とされますが、遠軽にもあったよと高校の同級生が言っていたので開拓魂が周辺にも及んだというところでしょうか。

写真は昭和初期、サロマ湖東岸の川口（現在の浜佐呂間）で撮られた大家族の写真です。入母屋の玄関を背に孫を抱く三兄弟と身内の方々……東京サロマ会役員の杉谷博利さんに繋がるご一家です。

明治30年、旧桑名藩出身の三兄弟は父母と共に湧別原野に入村。同37年の日露戦争に出征した長兄は旅順203高地の激戦で負傷しながらも生還、以後カリスマ的存在として一

家を率います。

くじで当たった土地が農業に適さないと三弟（博利さんの父）が裸馬に乗って新天地を求めサロマ湖を東上、佐呂間別川の河口に辿り着きます。そこで中山正男の『馬喰一代』に出てくる米市と知り合い、サロマ湖のカキを獲ってカキご飯にしたりして遊びます。

その頃のサロマ湖畔原野はまだ未開の地で、アイヌ部落と10軒余の和人をまじえて小部落を形成していました。佐呂間町最初の和人定住者、鈴木甚五郎さんも住んでいたそうです。こうして明治42年、一家は川口に移住し、鬱蒼とした原始林を川口から

「アスパラガス」特産の町、東神楽町

東京東神楽会 会長 安井 規 雄



東神楽町は、旭川市に隣接する町で、旭川動物園への空の玄関口「旭川空港」がある町であって、人口が1万369人（平成29年5月末現在）と増加している町です。

東神楽町は、「すてきな笑顔と花のまちひがしかぐら」とのキャッチフレーズにて町おこしをしています。グリーンアスパラが特産品で、全国からの引き合いが多くきています。

町としても、「東神楽のアスパラガス」を広めようと、「東神楽町アスパラメイト」を東京というイベントを都内にて開催しました。また、農家の若手を中心となり、町内の住宅地域に直売所をオープンしました。

さらに、旭川空港において羽田空港から旭川空港着の便を利用した搭乗客を対象に、「東神楽のアスパラガス」を振る舞うイベント「ウエルカムアスパラ」を開催しました。

どこの町も、町の特徴をいかにしてアピールするかにつき、苦心しているところですが、

仁倉、知来、佐呂間市街まで切り拓き、木材を家業としていきます。

戦後、鉛筆メーカーとして東京進出を果たし、小学5年の時に家族で上京した博利さんですが、ふる里の最高の思い出はあの頃は土着のアイヌ民族と大陸から来た北方民族、そして南から入ったわれわれという、みんな一緒に勉強していたよ」と懐かしそうに語るのです。



杉谷一家

「サロマ湖で遊んだこと。あの頃は土着のアイヌ民族と大陸から来た北方民族、そして南から入ったわれわれという、みんな一緒に勉強していたよ」と懐かしそうに語るのです。

ホッとのおいしさ。北海道からおとけします。

北海道産地自慢のこだわり農産物・海産物
北海道ならではの肉加工品
人気の北海道スイーツ
全道から種類も豊富な牛乳・チーズ
評判のこだわりワイン・日本酒
さわやかな味わいソフトクリーム
ほかにも、おいしい北海道が豊富です。

北海道 だんごプラザ
Hokkaido Dosanko Plaza

東京交通会館1階 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
(JR山手線有楽町駅1分、東京メトロ有楽町線有楽町駅3分)
TEL. (03) 5224-3800 FAX. (03) 3217-0411 | www.dosanko-plaza.jp
■営業時間/午前10時～午後8時 年中無休(年末年始を除く)